

3D都市モデルと先端テクノロジーを活用した市民参加型まちづくりの実現

地域の様々な独自データを収集・連携し、3D都市モデル(バーチャル竹芝)でのシミュレーションや、「交通(MaaS)」、「防災」など複数分野のサービス展開モデルを構築することで、市民参加型まちづくりによる地域課題解決の実現を目指す。

■位置図



■本事業全体の概要

市民参加型のまちづくりを実施する竹芝Marine-Gateway Minato協議会のスマートシティ検討WGでは、最先端のテクノロジーを街全体で活用するスマートシティのモデルケースの構築に取り組んでいる。地区内で収集した人流データや訪問者の属性データ、道路状況、交通状況、水位等のデータをリアルタイムで様々な事業者が活用できる都市OSや、先端技術を活用したサービス等を竹芝地区に実装し、竹芝および周辺地区の課題を解決することを目指す。

Smart City Takeshiba



サブコンセプト：社会的課題の解決と、経済的発展を両立した「人間中心の社会」*1

スマートシティプラットフォーム (都市OS)



■対象区域の概要

名称: 竹芝地区, 面積: 約28ha
 昼間人口: 18,481人(平成27年国勢調査)
 ※地区内では、令和2年に東京ポートシティ竹芝やウォーターズ竹芝等の大規模再開発があり、昼間人口は調査時より増加

■対象区域のビジョン

・日本におけるSociety5.0の早期実現に向けて、地域に密着したリアルタイムデータ・AI等を活用した複数分野のサービス展開のモデルを竹芝で構築し、周辺エリア連携・展開を目指す

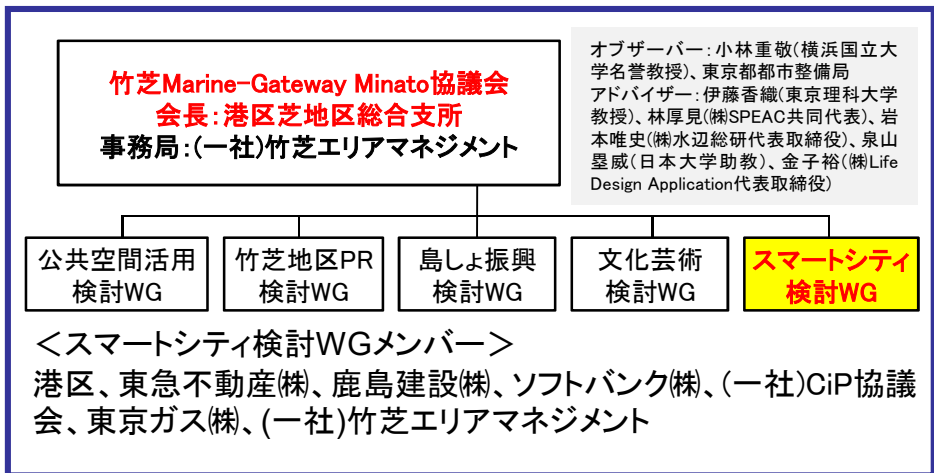
*1: (出所) 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 出口氏 資料より

■ スマートシティの目標(KPIの設定)

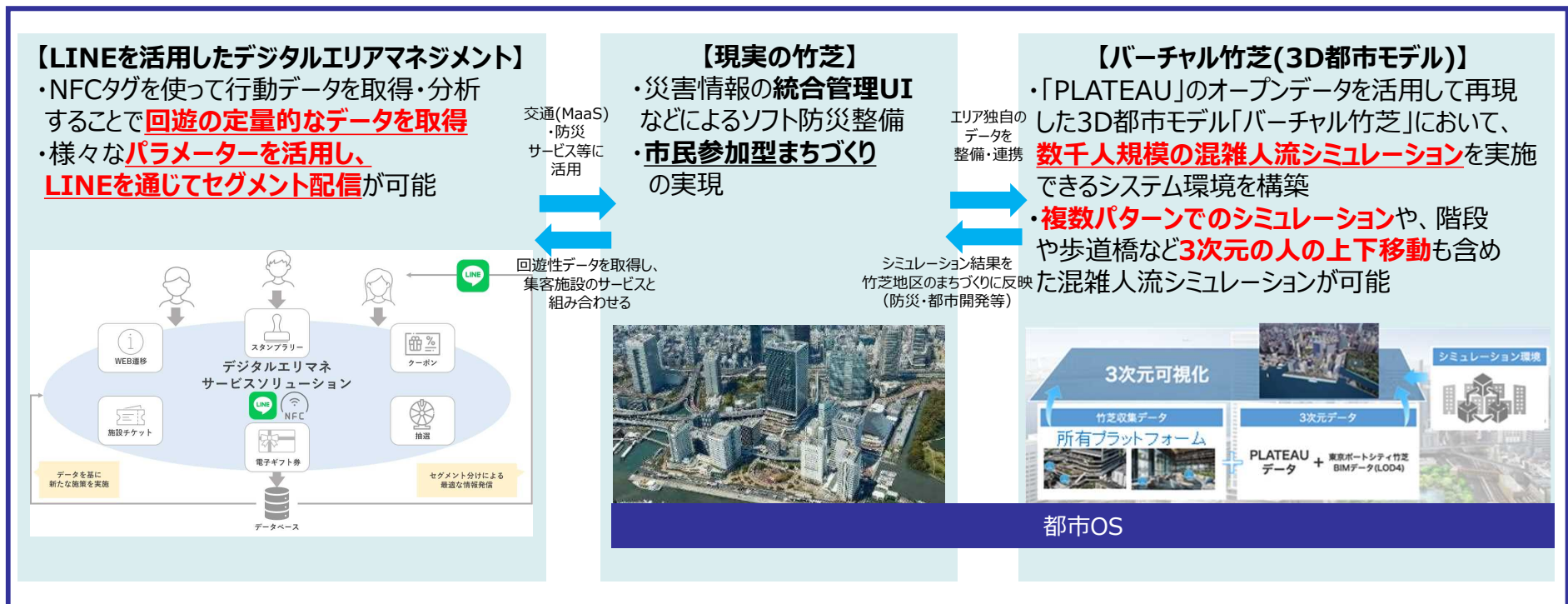
目指す世界(KGI)	KPI指標	目標値
【防災サービス】 街中のデータを活用して通常時に発災時の対応に関する適切な情報を届ける	防犯カメラ設置数	5箇所
	発信情報数(情報の種類)	5種類
【防災サービス】 街に必要な情報を3D可視化、リアルタイム更新、シミュレーション	活用した実例(訓練)	年2件
	シミュレーションパターン	3件
【交通サービス】 シームレスな交通手段の提供による竹芝・浜松町エリアの回遊性向上	モビリティ連携数	5件
	停車連携施設数	6施設

※一部抜粋

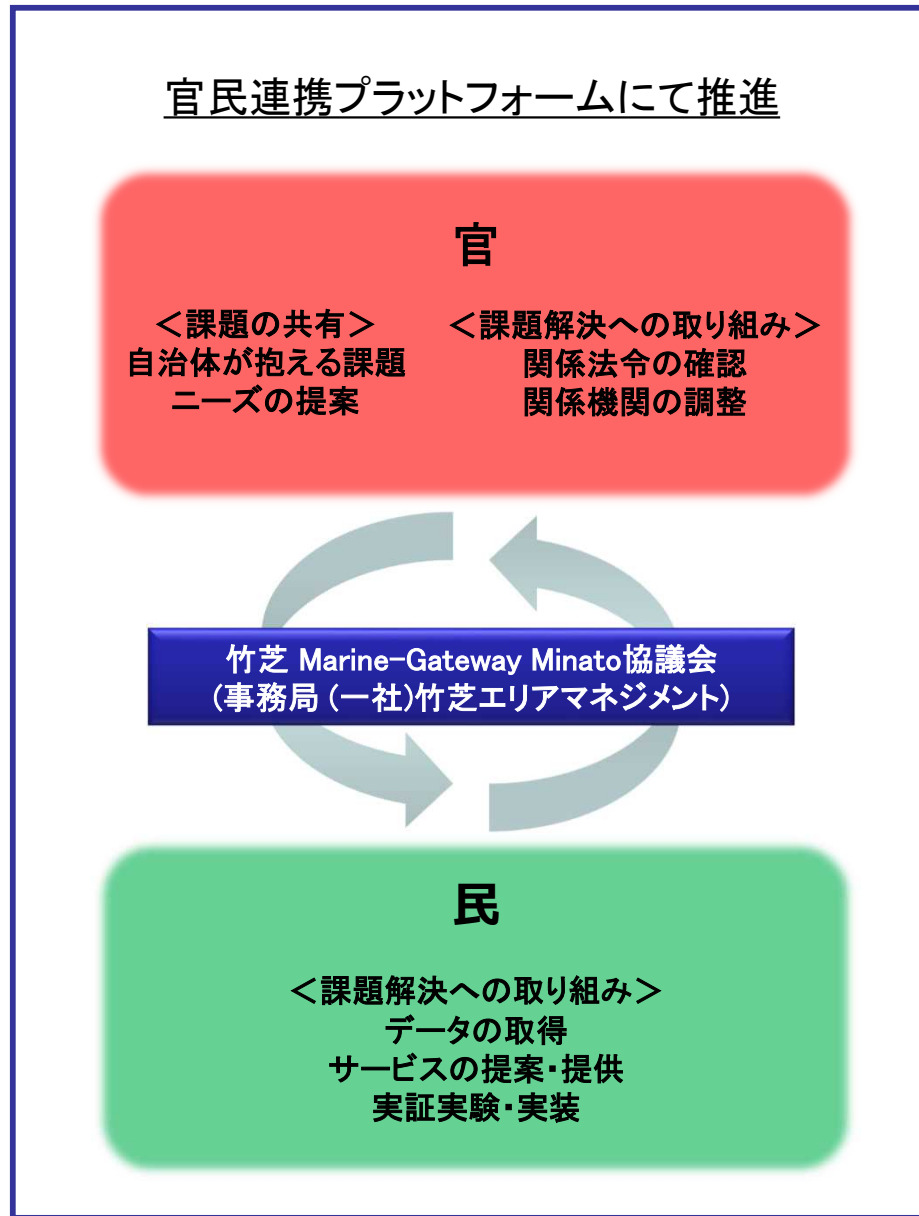
■ 運営体制



■ 導入技術

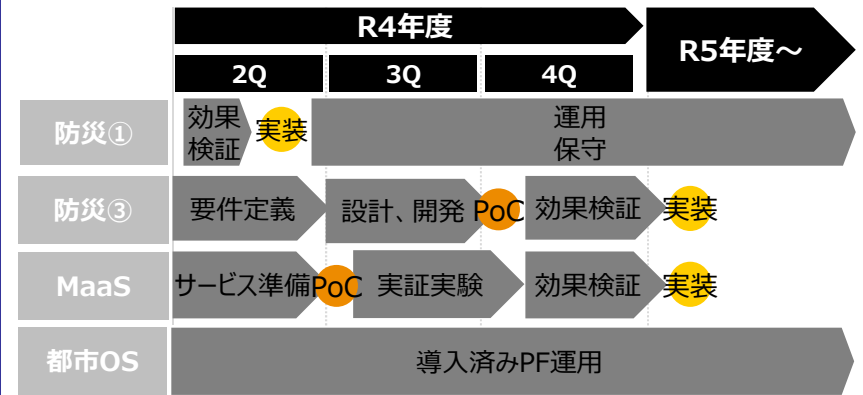


■ ビジネスモデル



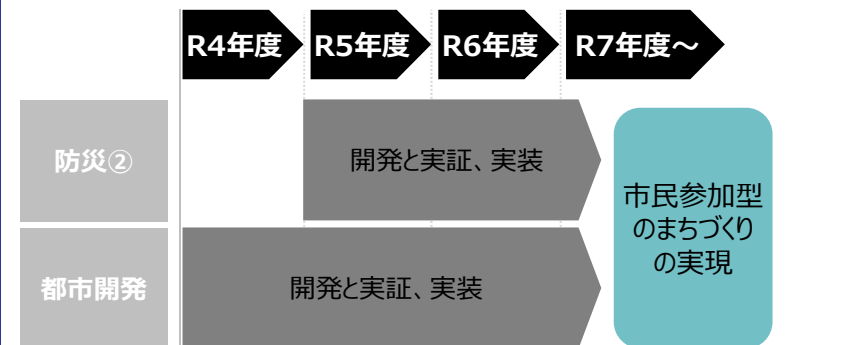
■ スケジュール

＜実装に向けた短期ロードマップ＞



※ 防災①: 地区内の一時避難施設からの帰宅時混雑シミュレーション
 防災③: 災害時の情報統合UIの開発および来街者への情報発信
 MaaS: 舟運モビリティ×陸上モビリティのMaaSサービス

＜ビジョン実現に向けた長期ロードマップ＞



※ 防災②: 高潮発生時の混雑シミュレーション
 都市開発: 開発時のまちづくりシミュレーション